# 肢体不自由者（重複）の指導法

科目ナンバリング　SNE-302
選択　　2単位

石川　政孝

1. 授業の概要（ねらい）

【選択科目】【特別支援教育に関する科目・特別支援教育領域に関する科目・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目】

現在、特別支援学校（知的障害）の小学部、中学部に在籍する児童生徒のうち、半数近くの児童生徒が重複障害学級に在籍するなど、障害の重度・重複化への対応が喫緊の課題となっている。

また、特別支援学校（肢体不自由）においては、約4分の3の児童生徒が重複障害学級に在籍している。このような現状の中で、重複障害児を理解し、児童生徒個々の障害の状態等に応じた適切な教育を進めていくことが重要である。

本授業においては、特別支援学校等における重複障害児の指導を踏まえ、肢体不自由と知的障害、肢体不自由と病弱を併せ有する重複障害児を理解するための方法、具体的な指導等について講義・演習を行う。

2. 授業の到達目標

重複障害児の概念や重複障害児教育の現状と課題を整理して説明できる。

重複障害のある児童生徒の教育に関して学習指導要領やその解説を読んで、重複障害者等に関する教育課程の取り扱い及び個別の指導計画の意義について述べることができる。

特別支援学校等における重複障害児の指導の実際について映像をみて、指導の在り方について自分の意見をもつことができる。

3. 成績評価の方法および基準

レポート・試験（期末及び随時）80%、授業参加度20%により総合的に評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

文部科学省　『特別支援学校幼稚部教育要領・特別支援学校小学部・中学部学習指導要領・特別支援学校高等部学習指導要領』（平成29年4月告示）

文部科学省　『特別支援学校幼稚部教育要領・特別支援学校小学部・中学部学習指導要領・特別支援学校高等部学習指導要領解説　総則編（幼稚部・小学部・中学部）』

文部科学省　『特別支援学校（教育要領）学習指導要領解説　－自立活動編－』

参考文献

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所ぱれっと作成チーム　手厚い支援を必要としている子どもの情報パッケージ　ぱれっと（PALETTE)－子供が主体となる教育計画と実践をめざして－　ジアース教育新社

5. 準備学修の内容

授業で触れる内容に関連した特別支援学校学習指導要領及び解説の記述を事前及び事後によく読むこと

特別支援学校の学校公開や学校行事、ボランティア活動などを通して、障害の重い子どもや重複障害のある子どもの活動の様子を知ってほしい。

6. その他履修上の注意事項

前提条件として履修すべき科目：「肢体不自由児の心理・生理・病理」（春学期）

第1回目の授業において、授業の進め方、資料収集の方法、参考文献、評価等について説明する。

宿題の提出・出席状況・授業中の態度等については、自ら留意すること。

7. 授業内容

【第1回】　「重複障害児とは」
重複障害児の概念について、法令等をもとに説明する。また、重度・重複障害児という概念についても説明する。

【第2回】　「重複障害教育の現状」
重複障害児の教育の場は、特別支援学校における教育が原則であるが、特別支援学級においても重複障害児に対する教育が行われている。特別支援教育資料に基づいて特別支援教育の現状を協議する。

【第3回】　「重複障害児の教育課程について」
関係法令や学習指導要領における重複障害者等に関する教育課程の取扱いについて

【第4回】　「重複障害児の指導について(1)」
個別の指導計画の作成
肢体不自由と知的障害を併せ有する児童生徒の個別の指導計画の作成

【第5回】　「重複障害児の指導について(2)」
ティームティーチング
（肢体不自由と知的障害を併せ有する児童生徒の指導）

【第6回】　「重複障害児の指導について(3)」
教員と教員以外の専門家等との連携
（肢体不自由と知的障害と病弱を併せ有する児童生徒の指導）

【第7回】　「重複障害児の指導の実際(1)」
（肢体不自由と知的障害を併せ有する児童生徒の領域・教科を合わせた指導－遊びの指導－）

【第8回】　「重複障害児の指導の実際(2)」
（肢体不自由と知的障害を併せ有する児童生徒の領域・教科を合わせた指導－作業学習－）

【第9回】　「重複障害児の指導の実際(3)」
自立活動の指導－特別支援学校（知的障害）の例－

【第10回】　「重複障害児の指導の実際(4)」
自立活動の指導－特別支援学校（肢体不自由）の例－

【第11回】　「教材教具の工夫について(1)」
市販されている教材教具の活用
（肢体不自由と知的障害と病弱を併せ有する児童生徒の教材教具）

【第12回】　「教材教具の工夫について(1)」
教員等によって自作された教材教具の活用
（肢体不自由と知的障害と病弱を併せ有する児童生徒の教材教具）

【第13回】　「訪問教育について(1)」
訪問教育のあゆみ
（肢体不自由と知的障害と病弱を併せ有する児童生徒の指導）

【第14回】　「訪問教育について(2)」
訪問教育の現状と課題
（肢体不自由と知的障害と病弱を併せ有する重度・重複障害の児童生徒の指導）

【第15回】　授業の振り返りとまとめ及び試験